

翔陽祭企画「将棋大会」「図書委員会発表」 終わる

17日に行われた恒例の図書委員会主催将棋大会は、1位他校の生徒さん、2位釜田博先生、3位S2平川裕翔さん、4位S2石川滉斗さんでした。健闘をたたえたいと思います。

また18日には「SHOYO 図書委員会 Presents～朗読劇『横浜大戦争』」と題してステージ発表を行いました。朗読劇以外で紹介した本は、『横浜大戦争 明治編』、『そうにゃんとえきいんさん』『そうにゃんとえきちょうさん』、そして『横浜駅 SF』『横浜駅 SF 全国版』です。いずれも人気を博した本で、図書館にありますので是非一読ください。

さて、今年度本校に赴任してこられた先生方に、本校生におすすめの本の紹介第2弾です。

三明 晃信先生(電気科) のおすすめ本です。

タイトル『人を動かす』 著者 D・カーネギー 出版社 創光社 (図書館にあり)

みなさんは、日常生活の中で「どうしてこの人は分かってくれないのだろう」、「自分はいつもこんな目に遭う・・・運が悪いなあ」と思うことがありますか？それは、どうしてなのか？できることなら、そんな日常を変えてみたい。そのように思う人には、是非この一冊をおすすめします。人が行動を起こすときには、ある力が働いています。それは外から生まれるものなのか、内から生まれるものなのか、あなたの見方を少しでも変えることができれば、見える世界が変わっていきます。

岡島 崇 先生(農業科) のおすすめ本です。

タイトル『ワイルド・ソウル』 著者 垣根涼介 出版社 幻冬舎 (図書館にあり)

以前、勤務していた学校で朝読書をする際に先輩の先生からオススメされた小説です。まるで映画を観ているような感覚になるので、特に活字や文章を読むのが苦手・苦痛という人にはうってつけだと思います。小説を読むのが続かない人は騙されたと思って読んでみて下さい。これを期に読めるようになるかもしれません。

坂根 大樹 先生(理科) のおすすめ本です。

タイトル『夢をかなえるゾウ』 著者 水野敬也 出版社 飛鳥新社 (図書館にあり)

中学生の時に表紙に惹かれて買ってみました。少し不思議な表紙とは裏腹に内容はとても深く、しかしコメディカルにかかれていますのでとても読みやすいです。「自分変えようと思ったら、意識変えようとおもったらいかん、具体的な、何かを変えなきゃいかん」「心が変われば、態度が変わる。」「態度が変われば、行動が変わる。」「行動が変われば、習慣が変わる。」「習慣が変われば、人格が変わる。」「人格が変われば、運命が変わる。」「運命が変われば、人生が変わる。」これら一説のように当たり前かもしれないがハッとさせられる内容が多く入っており、今の自分を変えたいと思っている方は一読する価値がある本だと思います。是非読んでみてください。